

## 出題意図

### 英語

英語の基本学力と実用的運用力を評価することを目的としています。第1問が長文総合読解問題、第2問が会話文総合読解問題の2大問で構成しています。どちらの大問も、文中の空所補充、内容一致文完成、同じ内容の言い換え語句選択、整序英作文の4小問を出題しています。そしてどの小問も本文に関する設問内容なので、本文内容の読み取りができていないことがまず前提になります。そのためには、基本的な語彙やよく使われる会話表現の知識、文法や語法の基礎知識や運用力が必要です。大学では、専門的英語力だけでなく、将来の外国人とのコミュニケーションに必要とされる実用英会話も必要とされます。その場に相応しい英文が使えるかどうかの応用力を問います。

### 数学

数学Ⅰの範囲から、各分野において数学的な基礎知識を理解できているか、問題の設定を正確に把握して計算することができるかを問うています。出題形式は五肢一択を基本とする形式になっており、他の選択肢に惑わされずに解答できる力も求めています。具体的には「数と式」、「データの分析」、「2次関数」、「図形と計量」の4つの分野から出題し、基本的な定理・公式の利用とあわせて、数学的思考力や計算力を確認しています。「数と式」、「データの分析」の分野では、定理・公式を用いて正しく計算する力、「2次関数」、「図形と計量」の分野では、定理・公式の利用だけでなく、与えられた条件を数式化する力を重視します。このように、基礎的な知識の理解だけでなく、数学的思考力や正確な計算力を総合的に評価します。

### 国語

現代文（評論）を素材に、語彙の知識と活用力、読解力、思考力を総合的に評価することを目的としています。出題形式は基本的に五肢一択で、漢字や語の意味、脱文補充、傍線部の意味把握、筆者の主張の把握や内容合致の判定といった多様な設問形式を用いています。選択肢の細部まで丁寧に読み取る慎重さと、根拠をもって判断する力の測定に重きを置き、漢字や語彙の問題では基礎的な知識事項の定着、脱文補充問題では接続関係や因果の順序を正確に把握し本文に即した根拠をもって正解を選択する力、傍線部読解や内容合致問題では論理の前提と結論の関係を読み取る力、筆者が暗に示す観点や反論の扱いを識別する力を問います。